



Reitaku Overseas Development Association

RODA ニューズレター

一般財団法人 麗澤海外開発協会 会報

令和6年
(2024)
7月25日

第36号

第22巻第1号
年2回発行

主な記事

- 巻頭 若い世代を育成し
心の通い合う国際協力を進めよう
- 報告 麗澤大学 国際協力団体 Plas+
カンボジアの小学校で情操教育プロジェクトを実施
- その他 会費等のお願いと納入者紹介

発行所：一般財団法人麗澤海外開発協会
〒277-0065 千葉県柏市光ヶ丘2-1-1
TEL. 04-7173-3165 FAX. 04-7173-8953
<https://www.reitaku.or.jp/>
発行人・小西直之／編集人・横山守男

若い世代を育成し 心の通い合う国際協力を進めよう

一般財団法人 麗澤海外開発協会
会長 廣池 幹 堂



今、内外の情勢は依然として混迷を極めています。ロシアによるウクライナ侵攻、あるいは中東のガザにおけるイスラエルとハマスの戦闘で、子供や女性、お年寄りを含む多くの一般市民が犠牲になっています。とても21世紀の出来事とは思えないことが、現実には起こっています。いかなる理由であっても、このような行為は絶対に許されるべきものではありません。国民の安心と平和な暮らしを守るために、国家はどうあるべきか。独立と自由をどのように守っていくのか。これらの出来事は、私たち日本人に本質的な問いを突き付けています。

麗澤海外開発協会は、総合人間学モラロジーの創業者・廣池千九郎（法
学博士・1866～1938）の遺志に基づき、「開発途上国において文化・経済の発展に協力するため、国際協力活動を通じて、世界の平和、人類の安心と幸福の増進に寄与すること」を目的に、昭和46（1971）年、外務省所管の財団法人として設立されました。以来、主に開発途上国への貢献活動に取り組み、平成25年4月には内閣府より「一般財団法人」として認可され、今年で創立53年を迎えております。今日までご支援を賜りました多くの皆様に、あらためて深く感謝申し上げます。

現在は、主にタイ北部の少数民族の子供たちへの教育支援、ラオスやカンボジアにおける学校建設等への支援、ネパールにおける医療支援、海外での自然災害に対する緊急支援等を行っています。また、当協会の顧問でもあるラオス出身の竹原茂・麗澤大学名誉教授の名を冠した「竹原基金」を設置して、貧困等の理由で学校に通えないアジアの子供たちへの教育支援を進めています。併せて、わが国の青少年の育成に資するべく、タイ、ラオス等へのスタディツアーも定期的
に実施しています。中でも昨年12月に行われた「タイ・スタディツアー」は、モラロジー道徳教育財団の「廣池千九郎基金青年育成助成対象事業」の一環として、同財団との共催で実施されました。このツアーに参加した学生・生徒・青年は、訪問国の人たちとの交流や現地での生活体験を通して国際協力についての理解を深め、これからの国際貢献の場で活躍するための知識と心を大きく育てています。

世界の平和、人類の安心と幸福の増進に貢献する人材を一人でも多く育てていくことは、私たちの使命です。今、あらためて設立の原点に立ち返り、これまでの実績も踏まえ、国際社会に貢献する人材の育成と、心の通い合う国際協力をいっそう推進していきたいと願っています。

—— 麗澤大学 国際協力団体Plas+ ——

カンボジアの小学校で情操教育プロジェクトを実施

麗澤大学の国際協力団体Plas+(プラス)は、2024年1月30日から2月10日にかけてカンボジアの小学校で情操教育プロジェクト等を実施しました。

Plas+とは“Present love to all students”の略で、2014年4月26日、“すべての子供たちに愛を”をモットーに、麗澤大学の学生によって設立されました。現在は、主に一般財団法人麗澤海外開発協会(RODA)が資金援助をしてカンボジアに建設した ترام・クラール小学校、ベン・ロヴィア・レー小学校、トム・オー小学校を拠点に様々な活動を展開しています。今回も同協会等による支援のもと、学生17名・同行教員1名が、カンボジアにおける同3校を拠点にして情操教育プロジェクトと現地調査を実施しました。



トム・オー小学校で、みんな揃って

楽しく参加できる運動会を企画

運動会プロジェクトチームは、子供たちに体を動かす楽しさを知ってもらうとともに情操教育の浸透につなげるため、2月1日に ترام・クラール小学校、4日にベン・ロヴィア・レー小学校、7日にトム・オー小学校で運動会を開催し、1校につき約150名が参加しました。内容は、ラジオ体操、徒競走(20m)、障害物競走(25m)、綱引き(トーナメント戦)などで、事前に各種目のルールをしっかりと説明して実施しました。

この企画段階では、運動が得意な子も苦手な子も、みんなが楽しく参加できるようにするにはどうしたらいいかを考え、足の速さだけでは勝負がつかない障害物競走や、チームの全員が力を合わせる必要のある綱引きも取り入れました。チームを分け直したためにスタートが遅れるなどのアクシデントがあったものの、通訳者、教員、子供たちの協力のおかげで成功することができました。子供たちが本当に楽しそうに参加し、たくさんの笑顔を見せてくれたことが何よりの収穫でした。



トム・オー小学校での運動会



力を合わせて綱引きだ(ترام・クラール小学校)

独創性と自己表現力を高めるトートバッグ作り

2月6日には、トートバッグ作りプロジェクトチームが、子供たちの独創性や自己表現力を高め、併せて日本文化を伝えて文化交流につなげるため、トム・オー小学校において「トートバッグ作り」を実施し、100名近くが参加しました。トートバッグを選んだのは、通学や日常生活に役立ち、長く使えるもの

を提供したいという思いからです。

まず日本文化を代表する富士山、桜、侍などのイラストを見せながら日本文化を紹介。次に、チームから配布したトートバッグに、自分の好きなイラストなどをカラーペンで描いてもらいました。実施に際しては、トートバッグチームが屋外でイラストの説明などを行い、その間に運動会チームが教室内で机やペン、トートバッグをセッティングしてくれたことによって、とてもスムーズに行うことができました。子供たちが作業をしている間は、描いているものについて質問をしたりして交流することができました。このプロジェクトでは、子供たちはそれぞれの形で楽しんでいて、日本文化についてもいっそう興味を持ってくれたことを実感しました。



トートバッグを作る（トム・オー小学校で）

現地調査と家庭訪問で新たな課題を見いだす

各小学校においては、トートバッグ作りプロジェクトチームが教職員へのインタビューと設備等の現地調査を行い、運動会プロジェクトチームは、小学校に通う子供たちの自宅を訪問し、保護者や子供たちへのインタビューを実施しました。

各学校では、現地調査と家庭訪問において、「5歳になったら9割以上の子供が小学校に行けるが、成績がよくなければ卒業できない」「小学校には手洗い場はあるが、安全な水ではない。井戸はあっても封鎖されている」「道路や家の敷地にたくさんのゴミが落ちている」等の問題が提示され、「トイレの数を増やしてほしい」「パソコンを増やしてほしい」「文房具や遊具を増やしてほしい」等の要望が出されました。学校によっては、「中学校や病院までが遠い」「井戸が欲しい」「食糧が欲しい」等の要望も出ていました。

現地調査と家庭訪問を通じて、「小学校に通えない子はほとんどいない」ということが分かり、「これからは子供たちが快適に学校へ通えるようにするための支援が必要だ」と思いました。また、食糧や水不足、さらに電気が通っていないために困っている村があり、日本に暮らす自分たちの環境は当たり前ではないことを痛感し、「これからはカンボジアの方々の環境を少しでも改善できるように、私たちができることを考え実行していきたい」と思いました。

多くの学びと課題を得た今回のプロジェクト

2月8日にはPlas+のメンバー5名が、認定NPO法人「JHP・学校をつくる会」のカンボジア事務所を訪問。JHP・学校をつくる会は1993年9月に設立され、主にカンボジアでの学校建設・教育支援、ボランティア派遣、災害救援活動を行っている団体です。同分野で活躍する現地のNPO法人のお話をお伺いし、カンボジアの教育問題や取り組まれている現状に関する知識を深めることができました。そして「学生団体である私たちだからこそできることは何か」について改めて考える機会になりました。今後は、現地の団体と協力できるような、より発展的な活動も視野に入れていきたいと考えています。

今回、交流と支援を兼ねた二つのプロジェクトと現地調査を実施したことで、自らの目で現状を見るとともに、教員・子供たち・保護者などへのインタビューを広く行うことができ、現地ならではの貴重な体験や情報を得て、新たに取り組むべき課題を見いだすことができました。また、支援先や地域の方々とのコミュニケーションを通して、これまで先輩方が築き上げてきた信頼や成果を実感することもできました。私たちはこれからも「すべての子供たちに愛を」の精神を胸に、よりいっそうの支援に向けて心新たに活動を続けてまいります。

〈Plas+ 2023年度代表・土田明日香〉

たくさんのご支援、ありがとうございます

〈令和6年4月1日～令和6年7月8日〉
掲載に同意された方をご紹介します。(順不同)

■会費

廣池幹堂、甲良昭彦、木下廣太郎、関哲夫、山口明、内田八代、長谷和治、竹原茂、土谷和光、渡辺康博、横山守男、杉浦廣道、小松裕、山本祥子、柏谷康博、大谷誠之、今井收、長谷篤治、山田雅雄、松本哲洋、小西直之、藤村薫、古川定邑、俣野幸昭、桑島義智、梅村元成、和田悦治、井上源一、堀内一史、山本浩、小野剛、太田徳昭、増田一江、水田恵一郎、小林雅純、永治達彦、古川益二、濱井利一、福井博康、桑島朋子、平塚靖永、須見好和、松岡孝稔、三木実、木津孝道、河村満、風澤俊夫、菅間正則、井川好長、岩田英志、杉山直、岸上肇、横山明弘、黒白常光、菅澤運一、大山圭子、長谷真千子、田中一宏、田中聖則、北川治男、鈴木貞夫、小西正純、森口真美、淡島成高、長谷享治、雲丹亀宏明、鈴木孝明、森田武志、青木久子、結城保、村瀬泰比古、赤松良平、田口英樹、富士俊隆、能勢千晴、西邑喜代子、佐久間三郎、福代明正、濱島直隆、北澤泰子、神永正男、井上景介、上萩洋三、田中孝夫、田中裕子、藤田和広、廣池加津子、黒須里美、出羽茜、出口孝信、我孫子利和、和田淳司、長谷愛子、吉山八郎、株式会社三国一、株式会社ピアかざりや、新井秀啓、横山印刷株式会社、合資会社川貞商店、佐藤薬品工業株式会社、有限会社弘明堂、山口保安工業有限会社、村田ボーリング技研株式会社、森口製粉製麺株式会社、盛岡モラロジー事務所、有田モラロジー事務所、堺北野田モラロジー事務所、大田モラロジー事務所、和歌山モラロジー事務所、美馬モラロジー事務所、東京港モラロジー事務所、世田谷モラロジー事務所、栃木市モラロジー事務所、恵那モラロジー事務所、小松島モラロジー事務所、焼津モラロジー事務所、佐久モラロジー事務所、高松モラロジー事務所、岸和田モラロジー事務所、若狭モラロジー事務所、中野モラロジー事務所、目黒モラロジー事務所、加古川モラロジー事務所、相生モラロジー事務所、上総モラロジー事務所、鹿行モラロジー事務所、川越・富士見モラロジー事務所

■准会費

俣野貴昭、尾崎哲子、中地駿輔、杉山蒼真、石川理彩、畑山里菜

■一般寄付金

廣池幹堂、山口明、長谷和治、渡辺康博、横山守男、杉浦廣道、長谷篤治、山田雅雄、俣野幸昭、山崎純雄、和田悦治、太田徳昭、濱井利一、大住敬一、福井博康、荻野益男、井上照悟、俣野貴昭、松岡孝稔、井川好長、木崎重安、横山明弘、俣野喜代美、俣野智美、澤政利、藤尾侑男、杉山雄彦、橋本光世、三浦順治、山田武司、森田政見、尾崎哲子、岩永和美、杉原善衛、青木久子、飯島孝夫、藤田和広、福代明正、井上景介、上萩洋三、野瀬昌彦、落合博志、出口孝信、木野稔、長谷愛子、麻野純一、旭川モラロジー事務所、石井啓治、石渡敏子、市ノ渡廣志、井上貢一、今安優、笠田環嗣、笠原伸泰、加藤信次、加藤やよい、加藤芳彦、神田茂、北敬子、橘高重久、合田孝一、雑賀正光、齊藤朱美、佐久間八重子、澤田修一、島崎孰、関俊章、高坂賢吉、千葉静子、寺坂富俊、内藤富博、長井孝介、西村忠雄、西村秀喜、野中康弘、橋本皇子、前島義人、三浦洋嗣、光安輝雄、三上ハツミ、増田顕次郎、御代川克之、野田ミート株式会社、株式会社ダイキョープラザ、株式会社小松製菓、三信株式会社、山口保安工業有限会社、株式会社三国一、静岡県モラロジー協議会女性クラブ、有限会社弘明堂、四日市西部モラロジー事務所、廣池学園モラロジー事務所、小松能美モラロジー事務所、堺北野田モラロジー事務所、大阪和泉モラロジー事務所、大阪住吉モラロジー事務所、石井モラロジー事務所、大阪東淀川モラロジー事務所、近江湖西モラロジー事務所、大阪旭モラロジー事務所、鹿行モラロジー事務所、京都東山区モラロジー事務所、京都伏見区モラロジー事務所、長野モラロジー事務所、大田モラロジー事務所、宮城県北部モラロジー事務所、名古屋東モラロジー事務所、福井東モラロジー事務所、尾道モラロジー事務所、長崎北部モラロジー事務所、静岡市葵モラロジー事務所、京丹後モラロジー事務所、千代田モラロジー事務所、大和葛城モラロジー事務所、坂井モラロジー事務所、相生モラロジー事務所、佐久モラロジー事務所、福井西モラロジー事務所、高松モラロジー事務所、有田モラロジー事務所、飯南モラロジー事務所、春日部モラロジー事務所、茨木モラロジー事務所、今治モラロジー事務所、小樽モラロジー事務所、那賀川モラロジー事務所、香椎モラロジー事務所、堺北モラロジー事務所、高浜モラロジー事務所、美津島モラロジー事務所、津山モラロジー事務所、流山モラロジー事務所、南陽モラロジー事務所、新潟モラロジー事務所、尾西モラロジー事務所、北総モラロジー事務所、吉賀モラロジー事務所、米子モラロジー事務所

■竹原基金

廣池幹堂、山口明、長谷和治、竹原茂、横山守男、杉浦廣道、山本祥子、柏谷康博、長谷篤治、山田雅雄、山本浩、俣野幸昭、桑島義智、和田悦治、濱井利一、福井博康、桑島朋子、松岡孝稔、三木実、森田政見、八代京子、岩永和美、青木久子、山田荘一、飯島孝夫、藤田和広、野瀬昌彦、長谷愛子、出羽茜、今安優、ウィクラマラタナドミンダ、片山道則、加藤信次、桑島祥子、小林一正、鈴木洋子、千葉静子、内藤富博、長井孝介、広瀬正雄、三浦洋嗣、麗澤大学プアンスークル同窓会、支援キルトの会ふーぶ、株式会社めこん、山口保安工業有限会社、大阪和泉モラロジー事務所、福井西モラロジー事務所、堺北野田モラロジー事務所、大垣モラロジー事務所、長野モラロジー事務所、恵那モラロジー事務所

会員・寄付金・竹原基金
を募集しています

麗澤海外開発協会は、皆様からお寄せいただいた会費や寄付金によって活動しています。
会員等での入会と寄付金・竹原基金にご支援いただきますようお願い申し上げます。

| 種類 | 年額 |
|------|-------------|
| 会費 | 1口1万円(1口以上) |
| 法人会員 | 1口1万円(1口以上) |
| 准会員 | 1口2千円(1口以上) |
| 寄付金 | 任意の寄付金を募ります |
| 竹原基金 | 任意の寄付金を募ります |

*通信欄に寄付等の種類をご記入ください

郵便振替：口座番号 00120-6-499164

名義／一般財団法人 麗澤海外開発協会

銀行口座：三菱UFJ銀行松戸西口支店 普通 4057567

名義／一般財団法人 麗澤海外開発協会

一般財団法人

麗澤海外開発協会事務局

〒277-0065

千葉県柏市光ヶ丘2-1-1

TEL：04-7173-3165

FAX：04-7173-8953

E-mail：kaikyo@ad.reitaku-u.ac.jp

HP：https://www.reitaku.or.jp/



会費、寄付金をお寄せいただいた方のお名前は、会報に掲載させていただきます。掲載不要の方は、振込用紙の通信欄にその旨をご記入いただくか、事務局までお知らせください。ご連絡のない場合は掲載に同意いただいたものといたしますので、ご了承ください。